

No.	年月	時間	程度	出火場所	出火原因等	発見・通報・初期消火等
1	令和5年1月11日	10時半頃	非火災	台所	住人が鍋に火をかけたまま放置したまま外出したため、鍋が空焚き状態となって煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動したものの。	来訪した郵便局員が、住宅用火災警報器の鳴動音と焦げ臭い臭いに気づき、119番通報する。駆け付けた消防隊が鍋の空焚きを確認し、消火の必要はなかったものの。
2	令和4年12月26日	1時半頃	半焼	居間	住人が仏壇の灯明に火を灯したまま就寝し、何らかの原因で落下、火災が発生したため住宅用火災警報器が鳴動したものの。	住人が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、ベランダへ避難したため、逃げ遅れることがなかったものの。
3	令和4年9月18日	18時頃	非火災	台所	住人が、台所に設置された電子レンジでご飯を加熱しすぎたため、煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動したものの。	住人が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、電子レンジを止めたため、火災の発生を未然に防げたものの。
4	令和4年6月15日	18時頃	非火災	台所	住人が鍋に火をかけたまま放置したため、鍋が空焚き状態となって煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動したものの。	近所の方が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、119番通報する。駆け付けた消防隊が鍋の空焚きを確認し、消火の必要はなかったものの。
5	令和4年5月14日	7時半頃	非火災	寝室	住人が寝室に設置された電子レンジで大判焼きを加熱しすぎたため煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動したものの。	住人が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、119番通報通報する。駆け付けた消防隊が確認し、消火の必要はなかったものの。

6	令和4年4月12日	18時頃	非火災	台所	住人が鍋に火をかけたまま放置したため、鍋が空焚き状態となって煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動したものの。	近所の方が、住宅用火災警報器の鳴動音と焦げ臭い臭いに気づき、119番通報する。駆け付けた消防隊が鍋の空焚きを確認し、消火の必要はなかったもの。
7	令和3年11月11日	18時半頃	非火災	台所	住人がガステーブルのグリルを使用し、魚を焼いていたが、そのまま寝入ってしまい、焼いていた魚が焦げて煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動したものの。	近所の方が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、119番通報する。その後、先に駆け付けた警察官が屋内に入り、ガステーブルの火を消したため、火災の発生を未然に防げたもの。
8	令和3年8月23日	12時半頃	非火災	台所	住人がガスコンロを使用し、鍋に火をかけた状態で外出したため、鍋が空焚き状態となり煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動したものの。	近所の方が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、119番通報する。その後、屋内に入りガスコンロの火を消したため、火災の発生を未然に防げたもの。
9	令和3年8月18日	1時頃	部分焼	寝室	住宅の2階寝室で火災が発生し、階段に設置していた住宅用火災警報器が鳴動したものの。	住宅用火災警報器の鳴動に気づいた家人が屋外へ避難する。また鳴動に気付いた近隣住民が自宅から延ばした水道ホースで初期消火を実施し、同時に別の近隣住民が119番通報する。
10	令和3年6月13日	16時半頃	非火災	台所	住人がガスコンロを使用し、鍋に火をかけた状態で外出したため、鍋が空焚き状態となり煙が発生し、住宅用火災警報器が鳴動したものの。	近所の方が、住宅用火災警報器の鳴動音に気づき、様子を見に行ったところ、換気扇から白煙が出ているのを発見し、119番通報する。その後、帰宅した住人と消防隊が室内に入り、ガスコンロの火を消したため、火災の発生を未然に防げたもの。